

【テーマ】町内会とNPO、行政の関係

町内会って何？

- ・ 町内会の活動が良く分からない。
- ・ 町内会の活動内容が分かりにくい。
- ・ 町内会の内部において「地域の課題」が共有されていない。
- ・ 町内会の組織率が低下し、活動参加者も限られ、地域代表者が低下している。
- ・ 単身者は入りにくい。
- ・ 協働型社会における町内会の役割とは？

現在の町内会の課題

- ・ 行政は町内会も現代のニーズに合うように育成する手段と努力について考える必要がある。
- ・ 町内会は既存の組織の枠にとらわれて、NPOのように身軽な動きができない。
- ・ 町内会からの意見が行政に届きづらい。
- ・ 行政は町内会にいろいろ頼みすぎている。
- ・ NPOに対する補助金は町内会に対するものと異なりルール化されていない。

新しい町内会のあり方

- ・ 新しい町内会のあり方とは？
- ・ 町内会を活かして子どもから老人までの交流の場を作れないか？
- ・ 町内会への関心を高める方法は？
- ・ 分権化時代のまちづくりについては、地域コミュニティの変革と市民活動の地域直属性が必要

町内会とNPOの共存

- ・ NPOありきではない自治体制の確立が先行すべき。
- ・ 町内会とNPOとの本質的な違いとは？
- ・ 行政がNPOを面的に編成した場合の既存の町内会との調整の必要性
- ・ NPO的活動に関心がある人々は町内会活動に無関心であることが多い。

ルール作り

- ・ 地方自治の改革の必要がある。まちづくりのルール（条例）づくりが必要